

クローズアップ



高輪ゲートウェイ駅

伊藤 真也

(Shinya Ito)

株式会社 日立ビルシステム
首都圏支社 新設営業技術部

建物外観

撮影協力：JR 東日本

1. はじめに

1971年以来となるJR山手線の駅「高輪ゲートウェイ駅」が2020年3月14日に暫定開業しました。新駅は山手線田町駅と品川駅の間に位置し、周辺地区は「グローバルゲートウェイ品川」として開発され、オフィスやホテル、商業施設、住宅を含む高層ビル7棟を駅の本開業に合わせて2024年頃に順次、街開きする予定です。

駅舎の設計は隈研吾氏をデザイナー・アキテクトに迎え、随所に「和」を感じられるデザインとなっています。折り紙をモチーフにした障子を想起させる大屋根のもと、象徴的な吹き抜けや大きなガラス面を設け、駅と街が一体的に感じられる空間を演出しています。

同駅は新しい技術を導入するショールーム的な存在としても位置づけられており、QRコードを使った自動改札、案内ロボットの配置、無人コンビニエンスストアを開業しています。

また、さまざまな環境保全技術を駅に導入する「エコステーション」として、膜屋根の採用や太陽光パネル、小型風力発電機の設置のほか、東北の木材を随所に使用しています。

2. 建物概要

所在地：東京都港区港南二丁目1番220号

建築主：東日本旅客鉄道株式会社

設計監理：JR東日本コンサルタンツ株式会社

株式会社 JR東日本建築設計

デザイナー・アキテクト：隈研吾建築都市設計事務所

施工：株式会社 大林組、鉄建建設株式会社

建物用途：駅舎

延床面積：7,600㎡

構造：S造

階床数：地下1階、地上3階

工期：2017年2月～2020年2月

開業：2020年3月

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター9台、エスカレーター12台の合計21台が設置されています。

山手線ホーム、京浜東北線ホームに設置されるエレベーターは、昇降路壁がガラスで覆われ、建物外観のガラス壁と同様に建物の象徴となっています。乗場はホールボタン、ホールランタンをガラス壁に組み込むことでシンプルなデザインに仕上がっています。

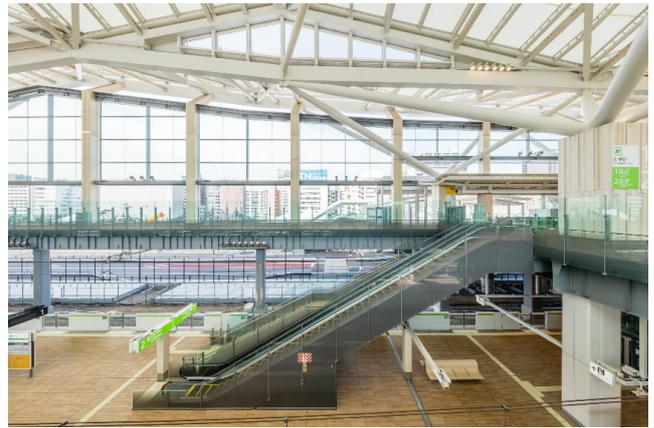
大型ガラス窓を設けたかご内には、天井に不燃木を使用し、「和」を感じられるデザインに仕上げられています。壁はステンレスバイブレーション仕上で統一され、かご戸及び乗場戸には大型の防犯窓が設置されています。出入口上部には大型バックミラーを設置、手すりを2段にする等、安全、安心に利用いただける仕様となっています。

エスカレーターは、各ホームから改札階に設置されており、特殊デザインフィルムを施した欄干ガラスが建物と調和しています。また、吹き抜け側にはガラス製の落下防止フェンスを設置し、安全面に配慮しています。また、乗降床には、エスカレーターの運転方向を示す表示灯を埋め込み、スムーズな乗降ができるようになっています。

クローズアップ



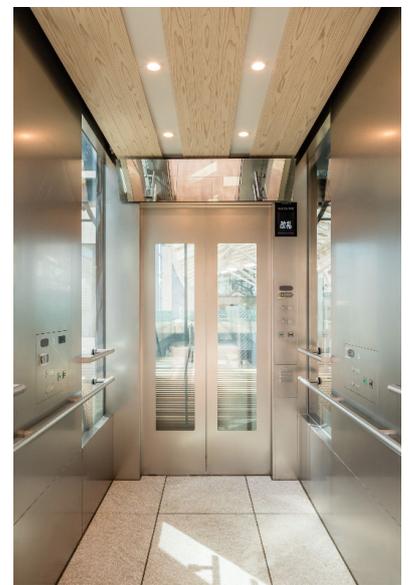
エスカレーター乗降口



エスカレーター全景



EV-3号機 エレベーター改札階乗場



EV-1~4号機 かご内

撮影協力：JR 東日本

エレベーター仕様 (9台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
EV-1,3	乗用	インバーター	乗合全自動方式	1600	24	45	2	2 (正面：ホーム、背面：改札)	日立	2方向出入口、車いす仕様
EV-2,4	〃	〃	〃	1200	18	45	2	2 (正面：ホーム、背面：改札)		〃
EV-5,6	〃	〃	〃	750	11	45	2	2(正面：2、背面：3)		〃
EV-7	人荷用	〃	〃	1000	15	45	1	4(B1、1~3)		〃
EV-8	〃	〃	〃	750	11	45	1	2(1,2)		〃
EV-9	乗用	〃	〃	1600	24	45	1	2(1,2)		暫定デッキ用、車いす仕様

エスカレーター仕様 (計12台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高(揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ES-1~8	S1000	透明ガラス (特殊フィルム貼)	30	ホーム-改札	7195	8	日立	スカートガード照明付、床埋込方向表示灯付
ESC-1-01,02	〃	透明ガラス	30	1-2	8000	2		屋外仕様、自動運転付(光電ポール)
ESC-2-01,02	〃	〃	30	1-2	8200	2		〃